

令和5年度（2022年度）入学宣誓式 学長式辞

花々が咲き揃い、日毎に木々の芽吹きが美しくなってきました。この春のよき日に、ご入学なさいます新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。先ず、本学の教職員を代表して、心からのお祝いを申し上げます。

人数の制限をさせていただきましたが、ご来賓にご臨席をいただき、ご家族の皆様とご一緒にお祝いできますこと、誠に嬉しく存じております。ランドセルを背負って嬉しそうにしていたお子様の姿を思い出されておられるのではないのでしょうか。お子様のご入学まことにおめでとうございます。

今年も、社会人としての経験を持つ方々が入学されたことも大変嬉しく思っています。そして、人数はとても少ないのですが、外国からの留学生の方も心より歓迎いたします。母国語でなく日本語での大学の講義を受ける力を身につけ、遠くから日本に来られ、入学されたこと、感服いたしております。

ここにお集まりの新入生の皆様は、今日から、山陽学園短期大学・山陽学園大学・山陽学園大学助産学専攻科、そして山陽学園大学大学院の学生として、いよいよ新しい生活が始まります。皆さんは、この三年間コロナ禍にあり、様々な行動制限のなかで過ごしてこられたことを思い出します。なかには、修学旅行も行けなかった方々もおられるのではないのでしょうか。そう思いますと、これから始まる大学生活への皆さんの期待がどれほど大きいかは、想像ができます。そうした気持ちを大切に、それぞれの学問や専門的学び、そして、ボランティアやサークルにと、積極的に取り組んでいただきたいと切に願っています。

さて、誰でも人は、現実の「今の自分」を知っています。「なりたい自分」との間に大きなギャップがある場合が殆どです。「ありのままの自分」でいることは、ある意味で自然なのかもしれません。しかし、私たちはそれとは違って、心の中で「こんな人になりたい」「こんな生き方をしたい」というような気持ちを、常にもっているのではないのでしょうか。自分自身の理想とする「理想の自分」を心に思い描き、そうあろうとする。けれども、そうできないというような葛藤のなかで、時には苦しみさえも感じているのではないのでしょうか。それでもなお、人は、「こうありたい」「こう生きたい」という理想に向かって、「自分で自分

を見つめて、それでほんとうによいのですか」と自問するのです。

山陽学園の教育の基礎を築かれた「愛と奉仕」の実践者上代淑先生が、常々訴えかけられた「エクセルシオール (excelsior) 向上」「一路向上」という言葉がありますが、人間は、人格的高みに向上してゆこうとする志向性を、その本質に持っているのではないのでしょうか。我々人間は「より善く」生きるため、自らによる絶えざる「自己批判」(自分で自分を批判すること)を通じて、常に「自己更新」(自分を自分自身で、さらに新しくして行こうとする)のであります。常に、より成長した自分を目指すこと、「一路向上」エクセルシオール excelsior (常に向上すること)を目指すということです。「今日よりも明日、明日よりも明後日」と、自己研鑽・自己修養を積み重ねることで、自分自身を自分自身の理想とする人に変えてゆくことになるのだと私は思います。

ところで、「理想の生き方・在り方」というものは、ずっと変わらないものなのではないのでしょうか。「成熟した大人」の場合には、確固たる信念による「理想」が確立されているでしょう。例えば、先の上代淑先生は「人の幸福のために生きましよう」と常々語り、「奉仕生涯」という言葉を大事になさり、「愛と奉仕」の人としてその生涯を教育に捧げられました。しかし、若い人の中には、まだそうした自分自身の「理想の生き方・在り方」をおぼろげにしか描けないという人もいます。実際に目指すことが、年齢と共に変わっていく場合の方が多いと思われれます。

実は、その変化こそが重要ではないかと思うのです。「自分以外の他者との人間的ふれあいを通して、出会う人々の持つ多様な価値観」が、これまでの「おぼろげな理想」「コロコロと変わる理想」を、確固たる理想に変化させるのだと思います。人間としてのあるべき姿、自分自身が生涯に亘って目指す「生き方・在り方」を、明確にさせることが、大学生活において重要であると私は考えています。

そのためにも、大いに勉学に励んでいただきたいのです。学問や専門的学びの中で、これまでと全く異なる歴史観や世界観に。また、学内外での実習やインターンシップ、サークルやボランティア活動などのあらゆる場面での人間的交わりの中から感得する人生観にと、様々な価値観に出会って頂きたいのです。そうした、多様な価値観に出会うことができるのが、教育理念「愛と奉仕」を礎に、綿々と人間教育を継承してきた私学「山陽学園大学・山陽学園短期大学」です。一三六年を超える歴史を持ち、スチューデント ファースト (Student First) をモットーに、

多くの優れた人材を社会に送り出してきた山陽学園で学ぶという誇りを持って、今日から本学の学生として、自己変革・自己更新を目指し、真の「学び」に取り組んで頂きたいと切に願います。

最後にもう一度申します。ご入学おめでとうございます。本学での学生生活が、「よき学びの時・よき交わりの時」となりますよう心よりお祈りし、式辞とさせていただきます。

2023年4月1日

山陽学園大学・山陽学園短期大学 学長 齊藤育子